

# 保存修復学実習Ⅱ

責任者名：宮崎 真至

学期：後期

対象学年：3年

授業形式等：実習

## ◆担当教員

宮崎 真至(歯科保存学Ⅰ 教授)  
黒川 弘康(歯科保存学Ⅰ 准教授)  
高見澤 俊樹(歯科保存学Ⅰ 准教授)  
陸田 明智(歯科保存学Ⅰ 准教授)  
辻本 暁正(歯科保存学Ⅰ 助教)  
石井 亮(歯科保存学Ⅰ 助教)  
小森谷 康司(歯科保存学Ⅰ 助教)  
青木 文良(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
秋山 佳英(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
天野 晋(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
新井 智(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
五十嵐 薫(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
市石 芳博(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
今井 元(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
岩崎 圭祐(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
金丸 壽良(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
関東 英雄(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
後藤 誠之(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
佐藤 光(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
佐藤 幹武(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
鈴木 敏裕(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
鈴木 治仁(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
福本 敬一(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
本浄 学(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
本浄 奈津(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
真下 裕道(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
宮 直利(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
山口 佳奈子(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
吉田 武史(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
吉野 弘三(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
若松 英輝(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
渡邊 珠代(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
升谷 滋行(歯科保存学Ⅰ・医療人間科学 兼任講師)  
坪田 圭司(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)  
鈴木 総史(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)

白川 哲夫(小児歯科学 教授)  
石山 未紗(小児歯科学 助教)  
高森 一乗(小児歯科学 専任講師)  
武井 浩樹(小児歯科学 助教)

#### ◆一般目標 (GIO)

診療参加型臨床実習で歯科治療を実践するために、シミュレーション実習（模型実習）を通して保存修復領域の基本的臨床技能を修得する。

#### ◆到達目標 (SBO s)

- ① 歯科用器具を安全に操作できる。
- ② 清潔に配慮した操作ができる。
- ③ 医療安全対策を実践できる。
- ④ 標準予防策を実践できる。
- ⑤ 歯科治療に必要な器材の準備、片付けができる。
- ⑥ 前準備処置（ラバーダム防湿、歯肉排除、隔壁、歯間分離）ができる。
- ⑦ う蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置（コンポジットレジン修復、ガラスアイオノマーセメント修復、補修修復）を実施できる。

#### ◆評価方法

保存修復学実習Ⅱの成績は、歯科保存学第Ⅰ講座と小児歯科学講座の実習評価点数の平均を全体の評価とする。

歯科保存学第Ⅰ講座担当分：

実習成果物（60%）と実習に取り組む態度（40%）で評価する。

実習成果物は完成までの各ステップを評価シートを用いて評価するとともに、フィードバック（解説）を行う。各ステップでの振り返りから、保存修復治療に必要な基本的臨床技能を習熟すること。

実習に取り組む態度はルーブリックを用いて評価する。振り返りで自身の足りない点を自覚し、見直すこと。

小児歯科学講座担当分：実習成果物（30%）、平常試験①～④（20%）および平常試験⑤（50%）で総合的に評価する。

平常試験終了後に内容についてフィードバック（解説）を行い、理解すべき点を明示する。

#### ◆オフィス・アワー

| 担当教員  | 対応時間・場所など                       | メールアドレス・連絡先 | 備考 |
|-------|---------------------------------|-------------|----|
| 宮崎 真至 | 水曜日 17:00～18:00<br>歯科保存学第Ⅰ講座教授室 |             |    |
| 黒川 弘康 | 水曜日 17:00～18:00<br>歯科保存学第Ⅰ講座医局  |             |    |
| 石山 未紗 | 木曜日 17:00～18:00<br>小児歯科学講座医局    |             |    |

## ◆授業の方法

学生を A 班, B 班の 2 班に分けて実習を行う。

A 班は学年番号 (4 桁) が奇数の学生グループであり, 1～3 時限目で実習を行う。

B 班は学年番号 (4 桁) が偶数の学生グループであり, 5～7 時限目で実習を行う。

歯科保存学第 I 講座担当分：

実習を始めるにあたり, 当日の内容についてのデモンストレーションを行った後, 各班のインストラクターが補足説明する。15 人程度の学生に対して約 5 人のインストラクターが配属され, 指導にあたる。模擬齲蝕付き人工歯を用いて, 高頻度歯科治療を想定したシミュレーション実習を行う。

【実務経験】宮崎真至：現在, 在職している日本大学歯学部附属歯科病院保存修復科での経験および歯科保存学第 I 講座の教授として研究等で得られた最新の知見を踏まえながら, 保存修復領域の基本的臨床技能およびこれを支える知識を修得する場を提供したいと考えている。

【実務経験】黒川弘康：現在, 在職している日本大学歯学部附属歯科病院保存修復科での経験を踏まえながら, 共用試験 OSCE および診療参加型臨床実習で必要な保存修復領域の基本的臨床技能を修得する場を提供したいと考えている。

小児歯科学講座担当分：

実習を始めるにあたり, 当日の内容についての理解度を確認するための平常試験を行ったのち, デモンストレーションを含めた実習前講義を行う。実習では個々の学生についてインストラクターがステップ毎に達成度を評価し, 必要に応じて助言とフィードバックを行う。

【実務経験】

石山未紗：現在, 在職している日本大学歯学部附属歯科病院小児歯科での経験を踏まえながら, 共用試験 OSCE および診療参加型臨床実習で必要な小児歯科領域の基本的臨床技能を修得する場を提供したいと考えている。

## ◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

| 種別    | 図書名                | 著者名                                | 出版社名  | 発行年  |
|-------|--------------------|------------------------------------|-------|------|
| 教科書 1 | 保存修復学第 7 版         | 宮崎真至, 千田彰, 斎藤隆史, 向井義晴, 林美加子<br>[編] | 医歯薬出版 | 2019 |
| 教科書 2 | 保存修復学実習概要 2020     | 日本大学歯学部保存学教室修復学講座<br>編             | 新燈印刷  | 2020 |
| 教科書 3 | 小児歯科学基礎・臨床実習 第 2 版 | 前田 隆秀 他                            | 医歯薬出版 | 2014 |
| 参考書   | 小児歯科学 第 5 版        | 白川 哲夫 他                            | 医歯薬出版 | 2017 |

## ◆DP・CP

### DP3

コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

### DP4

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

### CP3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

### CP4

歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

## ◆準備学習(予習・復習)

事前に実習書、教科書および保存修復学Ⅱの講義ノート、配布されたプリントを読んで、実習内容および学修到達目標を把握しておくこと。

保存修復学Ⅱの講義の復習は実習に必要な知識の整理に繋がるため、必ず実施すること。

手技に関する質問は実習中に随時受け付けるが、オフィスアワーも有効活用すること。

## ◆準備学習時間

保存修復学Ⅱの復習および実習内容の確認に要する時間として、3コマの実習時間に対して1時間程度の準備時間を確保すること。

## ◆全学年を通しての関連教科

保存修復学Ⅰ（3年前期）

保存修復学実習Ⅰ（3年前期）

保存修復学Ⅱ（3年後期）

歯科理工学Ⅱ（3年前期）

歯科理工学実習Ⅱ（3年前期）

ベーシックカリオロジー（3年前期）

クリニカルカリオロジー（3年後期）

臨床実習（5年通年）

臨床実習アドバンスト（6年前期）

## ◆予定表

| 回           | クラス | 月日  | 時限          | 学習項目  | 学修到達目標   | 担当   | コアカリキュラム   |
|-------------|-----|-----|-------------|---|--|------|--|
| 1<br>～<br>3 | A班  | 9.9 | 1<br>～<br>3 | 1. 光重合型コン<br>ポジットレジン修<br>復(3ステップ)<br>1)器材の名称と取<br>扱い<br>2)ラバーダム防湿 | ・ I 級窩洞修復の一般的手順を説明<br>できる。<br>・ 器材の名称と取扱いを説明でき<br>る。<br>・ ラバーダム防湿（臼歯部1 歯露<br>出）ができる。 | 保存修復 | E-3-2) 歯と歯<br>周組織の疾患<br>の特徴と病因<br>E-3-3)-(1) う<br>蝕その他の歯<br>の硬組織疾患 |

|             |    |      |             |   |  |      |  |
|-------------|----|------|-------------|---|--|------|--|
|             |    |      |             | <p>3)齲蝕象牙質の除去 (Class I O 36)</p> <p>4)歯面処理</p> <p>5)充填</p> <p>6)咬合調整および研磨</p> <p>(教1) pp.71-76, pp.129-138, pp.141-170</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・齲蝕検知液を用いた齲蝕象牙質外層の除去ができる。</li> <li>・歯面処理ができる。</li> <li>・充填ができる。</li> <li>・咬合調整および研磨ができる。</li> </ul>   |      | <p>の簡単な処置</p> <p>F-1-2) 医療安全・感染対策</p> <p>F-3-1) 共通事項</p>   |
| 1<br>～<br>3 | B班 | 9.9  | 5<br>～<br>7 | 上記と同じ   | 上記と同じ  | 保存修復 | 上記と同じ  |
| 4<br>～<br>6 | A班 | 9.16 | 1<br>～<br>3 | <p>1. 光重合型コンポジットレジン修復(3ステップ)</p> <p>1)器材の名称と取扱い</p> <p>2)歯肉排除</p> <p>3)感染歯質の除去 (Class V La 21)</p> <p>4)くさび状欠損内面削除 (La 23)</p> <p>5)窩縁斜面の付与</p> <p>6)歯面処理</p> <p>7)充填</p> <p>8)形態修正および研磨</p> <p>(教1) pp.71-81, pp.129-138, pp.141-170</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・V級窩洞修復の一般的手順を説明できる。</li> <li>・くさび状欠損窩洞修復の一般的手順を説明できる。</li> <li>・器材の名称と取扱いを説明できる。</li> <li>・歯肉排除ができる。</li> <li>・感染歯質の除去ができる。</li> <li>・窩縁斜面の付与ができる。</li> <li>・歯面処理ができる。</li> <li>・充填ができる。</li> <li>・形態修正および研磨ができる。</li> <li>・試験により講義内容と実習を関係づける。</li> </ul> | 保存修復 | <p>E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因</p> <p>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置</p> <p>F-1-2) 医療安全・感染対策</p> <p>F-3-1) 共通事項</p> |
| 4<br>～<br>6 | B班 | 9.16 | 5<br>～<br>7 | 上記と同じ   | 上記と同じ  | 保存修復 | 上記と同じ  |
| 7<br>～<br>9 | A班 | 9.30 | 1<br>～<br>3 | <p>1. 光重合型コンポジットレジン修復(2ステップ)</p> <p>1)器材の名称と取扱い</p> <p>2)プレウエッジ</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Ⅲ級窩洞修復の一般的手順を説明できる。</li> <li>・器材の名称と取扱いを説明できる。</li> <li>・プレウエッジができる。</li> <li>・感染歯質の除去ができる。</li> </ul>   | 保存修復 | <p>E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因</p> <p>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患</p>  |

|               |     |      |             |  |  |      |  |
|---------------|-----|------|-------------|--|--|------|--|
|               |     |      |             | <p>3)感染歯質の除去<br/>(ClassIII MLa<br/>12) (ClassIII MP<br/>11)</p> <p>4)窩縁斜面の付与<br/>5)隔壁および歯間<br/>分離<br/>6)歯面処理<br/>7)充填および圧接<br/>8)咬合調整<br/>9)形態修正および<br/>研磨<br/>(教1) pp.71-<br/>76, pp.129-138,<br/>pp.141-170</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・窩縁斜面の付与ができる。</li> <li>・隔壁および歯間分離ができる。</li> <li>・歯面処理ができる。</li> <li>・歯面処理の違いを説明できる。</li> <li>・充填および圧接ができる。</li> <li>・流動性の異なるコンポジットレジ<br/>ンの特徴を説明できる。</li> <li>・咬合調整ができる。</li> <li>・形態修正および研磨ができる。</li> <li>・試験のフィードバック(解説)を<br/>受けることで手技に必要な知識の習<br/>熟を図る。</li> </ul>   |      | <p>の簡単な処置<br/>F-1-2) 医療安<br/>全・感染対策<br/>F-3-1) 共通事<br/>項</p>   |
| 7<br>～<br>9   | B 班 | 9.30 | 5<br>～<br>7 | 上記と同じ  | 上記と同じ  | 保存修復 | 上記と同じ  |
| 10<br>～<br>12 | A 班 | 10.7 | 1<br>～<br>3 | <p>1. 光重合型コン<br/>ポジットレジジン修<br/>復(2ステップ)</p> <p>1)器材の名称と取<br/>扱い<br/>2)プレウェッジ<br/>3)感染歯質の除去<br/>(ClassIV LaMPI<br/>21)</p> <p>4)窩縁斜面の付与<br/>5)隔壁および歯間<br/>分離<br/>6)歯面処理<br/>7)充填および圧接<br/>8)咬合調整<br/>9)形態修正および<br/>研磨<br/>10)ラバーダム防湿<br/>(教1) pp.71-<br/>76, pp.129-138,<br/>pp.141-170</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・IV級窩洞修復の一般的手順を説明<br/>できる。</li> <li>・器材の名称と取扱いを説明でき<br/>る。</li> <li>・プレウェッジができる。</li> <li>・感染歯質の除去ができる。</li> <li>・窩縁斜面の付与ができる。</li> <li>・隔壁および歯間分離ができる。</li> <li>・歯面処理ができる。</li> <li>・充填および圧接ができる。</li> <li>・流動性の異なるコンポジットレジ<br/>ンの取り扱いができる。</li> <li>・咬合調整ができる。</li> <li>・形態修正および研磨ができる。</li> <li>・ラバーダム防湿(前歯部多数歯露<br/>出)ができる。</li> <li>・試験により講義内容と実習を関連<br/>づける。</li> </ul> | 保存修復 | <p>E-3-2) 歯と歯<br/>周組織の疾患<br/>の特徴と病因<br/>E-3-3)-(1) う<br/>蝕その他の歯<br/>の硬組織疾患<br/>の簡単な処置<br/>F-1-2) 医療安<br/>全・感染対策<br/>F-3-1) 共通事<br/>項</p> |
| 10            | B 班 | 10.7 | 5           | 上記と同じ  | 上記と同じ  | 保存修復 | 上記と同じ  |

|               |     |       |             |   |   |       |   |
|---------------|-----|-------|-------------|---|---|-------|---|
| ～<br>12       |     |       | ～<br>7      |   |   |       |   |
| 13<br>～<br>15 | A 班 | 10.14 | 1<br>～<br>3 | <p>1. 光重合型コンポジットレジン修復(1ステップ)</p> <p>1) 器材の名称と取扱い</p> <p>2) プレウェッジ</p> <p>3) 感染歯質の除去 (Class II OD 14)</p> <p>4) 隔壁および歯間分離</p> <p>5) 歯面処理</p> <p>6) 充填</p> <p>7) 咬合調整および研磨</p> <p>(教1) pp.71-76, pp.129-138, pp.141-170</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ II級窩洞修復の一般的手順を説明できる。</li> <li>・ 器材の名称と取扱いを説明できる。</li> <li>・ プレウェッジができる。</li> <li>・ 感染歯質の除去ができる。</li> <li>・ Vリング, マトリックスおよびウェッジによる隔壁および歯間分離ができる。</li> <li>・ マトリックスバンドおよびマトリックスリテーナーによる隔壁および歯間分離ができる。</li> <li>・ 歯面処理ができる。</li> <li>・ 歯面処理の違いを説明できる。</li> <li>・ 充填ができる。</li> <li>・ 流動性の異なるコンポジットレジンの取り扱いができる。</li> <li>・ 咬合調整および研磨ができる。</li> <li>・ 試験のフィードバック(解説)を受けることで手技に必要な知識の習熟を図る。</li> </ul> | 保存修復  | E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因<br>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置<br>F-1-2) 医療安全・感染対策<br>F-3-1) 共通事項 |
| 13<br>～<br>15 | B 班 | 10.14 | 5<br>～<br>7 | 上記と同じ   | 上記と同じ   | 宮崎 真至 | 上記と同じ   |
| 16<br>～<br>18 | A 班 | 10.21 | 1<br>～<br>3 | <p>1. 光重合型コンポジットレジンによる補修修復(1ステップ)</p> <p>1) 器材の名称と取扱い</p> <p>2) プレウェッジ</p> <p>3) 旧修復物表層および窩縁エナメル質の一層削除 (Class IV LaMPI 21)</p> <p>4) 隔壁および歯間分離</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補修修復の一般的手順を説明できる。</li> <li>・ 器材の名称と取扱いを説明できる。</li> <li>・ プレウェッジができる。</li> <li>・ 旧修復物表層および窩縁エナメル質の一層削除ができる。</li> <li>・ 隔壁および歯間分離ができる。</li> <li>・ シランカップリング処理ができる。</li> <li>・ 歯面処理ができる。</li> <li>・ 充填および圧接ができる。</li> <li>・ 研磨ができる。</li> <li>・ 試験により講義内容と実習を関連</li> </ul>   | 保存修復  | E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因<br>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置<br>F-1-2) 医療安全・感染対策<br>F-3-1) 共通事項 |

|               |     |       |             |  |  |       |   |
|---------------|-----|-------|-------------|--|--|-------|---|
|               |     |       |             | 5)シランカップリング処理<br>6)歯面処理<br>7)充填および圧接<br>8)研磨<br>9)習熟実習項目<br>(Class V La 21)<br>(Class III MLa 12)<br>(教1) pp.71-76, pp.129-138, pp.141-170   | づける。   |       |   |
| 16<br>～<br>18 | B 班 | 10.21 | 5<br>～<br>7 | 上記と同じ  | 上記と同じ  | 宮崎 真至 | 上記と同じ   |
| 19<br>～<br>21 | A 班 | 10.28 | 1<br>～<br>3 | 2. グラスアイオノマーセメント修復<br>1)器材の名称と取扱い<br>2)歯肉排除<br>3)感染歯質の除去<br>(Class I O 46)<br>(根面齲蝕 La 11)<br>4)ラバーダム防湿<br>5)歯面処理<br>6)セメント練和<br>7)充填および圧接<br>8)咬合調整<br>9)形態修正および研磨<br>(教1) pp.71-81, pp.129-138, pp.170-177 | ・従来型およびレジン添加型グラスアイオノマーセメント修復の一般的手順を説明できる。<br>・器材の名称と取扱いを説明できる。<br>・セメントによる修復法の違いを説明できる。<br>・歯肉排除ができる。<br>・感染歯質の除去ができる。<br>・ラバーダム防湿(白歯部多数歯露出)ができる。<br>・グラスアイオノマーセメントの取扱いおよび練和ができる。<br>・充填および圧接ができる。<br>・咬合調整ができる。<br>・形態修正および研磨ができる。<br>・試験により講義内容と実習を関連づける。<br>・試験のフィードバック(解説)を受けることで手技に必要な知識の習熟を図る。 | 保存修復  | E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因<br>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置<br>F-1-2) 医療安全・感染対策<br>F-3-1) 共通事項 |
| 19<br>～<br>21 | B 班 | 10.28 | 5<br>～<br>7 | 上記と同じ  | 上記と同じ  | 保存修復  | 上記と同じ   |



|               |     |       |             |  |  |      |   |
|---------------|-----|-------|-------------|--|--|------|---|
| 22<br>～<br>24 | A 班 | 11.4  | 1<br>～<br>3 | 3. メタルインレー修復（前期実習の補完）<br>1)窩洞形成<br>(1)Class II MO (46)<br>(2)Class I 0B (47)   | ・マネキンを使用して、術者の正しい診療姿勢および位置について理解する。<br>・メタルインレーを用いた齲蝕治療の窩洞形成について理解する。<br>・試験のフィードバック（解説）を受けることで手技に必要な知識の習熟を図る。<br><br>メタルインレー実習の一般目標と到達目標は、前期シラバスを確認すること。  | 保存修復 | E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因<br>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置<br>F-1-2) 医療安全・感染対策<br>F-3-1) 共通事項 |
| 22<br>～<br>24 | B 班 | 11.4  | 5<br>～<br>7 | 上記と同じ  | 上記と同じ  | 保存修復 | 上記と同じ   |
| 25<br>～<br>27 | A 班 | 11.11 | 1<br>～<br>3 | 3. メタルインレー修復（前期実習の補完）<br>1)感染歯質の除去（齲蝕付きレジン歯）<br>(1) Class II MO (46)<br>(2) Class I 0B (47)<br>2)前準備処置（隔壁および歯間分離）<br>3)歯面処理<br>4)練和（光硬化型ガラスアイオノマーセメント）<br>5)裏層仮封 | ・感染歯質除去時の留意点を理解する。<br>・隔壁の目的を理解する。<br>・マトリックスバンドおよびマトリックスリテーナーを用いた隔壁を学ぶ。<br>・歯間分離を学ぶ。<br>・裏層の目的を理解する。<br>・歯面処理を学ぶ。<br>・光硬化型ガラスアイオノマーセメントの取り扱いおよび特徴を理解する。<br>・裏層後の窩洞形成を理解する。<br><br>メタルインレー実習の一般目標と到達目標は、前期シラバスを確認すること。 | 保存修復 | E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因<br>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置<br>F-1-2) 医療安全・感染対策<br>F-3-1) 共通事項 |
| 25<br>～<br>27 | B 班 | 11.11 | 5<br>～<br>7 | 上記と同じ  | 上記と同じ  | 保存修復 | 上記と同じ   |
| 28<br>～<br>30 | A 班 | 11.18 | 1<br>～<br>3 | 3. メタルインレー修復（前期実習の補完）  | ・メタルインレーの精密印象採得および対合歯印象採得について理解する。   | 保存修復 | E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因  |

|               |     |       |             |  |  |       |   |
|---------------|-----|-------|-------------|--|--|-------|---|
|               |     |       |             | <p>1)精密印象採得<br/>(形成済みメラミン歯 46, 47)</p> <p>2)対合歯印象採得</p> <p>3)咬合採得</p> <p>4)仮封</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・メタルインレーの咬合採得および仮封について理解する。</li> <li>・対合歯への石膏注入を修得する。</li> </ul> <p>メタルインレー実習の一般目標と到達目標は、前期シラバスを確認すること。</p>   |       | E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置<br>F-1-2) 医療安全・感染対策<br>F-3-1) 共通事項 |
| 28<br>～<br>30 | B 班 | 11.18 | 5<br>～<br>7 | 上記と同じ  | 上記と同じ  | 保存修復  | 上記と同じ   |
| 31<br>～<br>33 | A 班 | 11.25 | 1<br>～<br>3 | <p>1. ラバーダム法および幼若永久歯の予防填塞</p> <p>1)平常試験①</p> <p>2)診療姿勢</p> <p>3)ラバーダム法</p> <p>4)歯面処理</p> <p>5)予防填塞<br/>(教3) pp.33-40,108-110,155-158</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児歯科診療における診療姿勢を理解し、修得する。</li> <li>・小児歯科診療におけるラバーダム(防湿)法の重要性を理解し、手順を修得する。</li> <li>・幼若永久歯の予防填塞の要点と手順を修得する。</li> <li>・レジン系シーラント材とガラスアイオノマー系シーラント材の使い分けについて学ぶ。</li> </ul> | 小児歯科  | E-4-2)小児の歯科治療   |
| 31<br>～<br>33 | B 班 | 11.25 | 5<br>～<br>7 | 上記と同じ  | 上記と同じ  | 小児歯科  | 上記と同じ   |
| 34<br>～<br>36 | A 班 | 12.2  | 1<br>～<br>3 | <p>2. 乳白歯のレジン修復(1)</p> <p>1)平常試験②</p> <p>2)ラバーダム法</p> <p>3)窩洞形成<br/>(教3) pp.33-46,174-175</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳白歯の形態学的特徴に応じた窩洞形成の留意点および窩洞外形を学ぶ。</li> <li>・コンポジットレジン修復に用いる器具の種類と使用方法を学び手順を修得する。</li> </ul>  | 小児歯科  | E-4-2)小児の歯科治療   |
| 34<br>～<br>36 | B 班 | 12.2  | 5<br>～<br>7 | 上記と同じ  | 上記と同じ  | 白川 哲夫 | 上記と同じ   |
| 37<br>～       | A 班 | 12.16 | 1<br>～      | 2. 乳白歯のレジン修復(2)  | ・乳白歯の隣接面齶蝕に対する成形充填材による修復の要点と手順を修   | 小児歯科  | E-4-2)小児の歯科治療   |

|               |               |       |             |  |  |       |                   |
|---------------|---------------|-------|-------------|--|--|-------|-------------------|
| 39            |               |       | 3           | 1)平常試験③<br>2)ラバーダム法<br>3)隔壁<br>4)歯面処理<br>5)充填<br>6)形態修正および<br>研磨<br>(教3) pp.33-<br>47,174-175            | 得する。   |       |                   |
| 37<br>～<br>39 | B班            | 12.16 | 5<br>～<br>7 | 上記と同じ  | 上記と同じ  | 白川 哲夫 | 上記と同じ             |
| 40<br>～<br>42 | A班            | 12.23 | 1<br>～<br>3 | 3. ブラッシング<br>指導およびフッ化<br>物塗布<br>1)平常試験④<br>2)ブラッシング指<br>導<br>3)フッ化物塗布<br>(教3) pp.105-<br>108,148-149,153 | ・保護者に対して小児へのブラッ<br>シング法を指導するうえでの要点と手<br>順を修得する。<br>・小児患者に対するブラッシング指<br>導の要点と手順を理解する。<br>・フッ化物塗布による齲蝕予防の要<br>点と手順を修得する。 | 小児歯科  | E-4-2)小児の<br>歯科治療 |
| 40<br>～<br>42 | B班            | 12.23 | 5<br>～<br>7 | 上記と同じ  | 上記と同じ  | 小児歯科  | 上記と同じ             |
| 43<br>～<br>45 | A<br>班,<br>B班 | 12.25 | 1<br>～<br>3 | 4. 平常試験⑤<br>実習総括   | ・学んだ内容についての理解度を試<br>験する。   | 小児歯科  | E-4-2)小児の<br>歯科治療 |



担当グループ一覧表

| グループ名 | 教員コード   | 教員名    |
|-------|---------|--------|
| 保存修復  | 703     | 升谷 滋行  |
|       | 1173    | 陸田 明智  |
|       | 1332    | 高見澤 俊樹 |
|       | 1539    | 坪田 圭司  |
|       | 2262    | 辻本 暁正  |
|       | 2973    | 石井 亮   |
|       | 3098    | 小森谷 康司 |
|       | 3000171 | 青木 文良  |
|       | 3000173 | 天野 晋   |
|       | 3000174 | 新井 智   |
|       | 3000175 | 五十嵐 薫  |
|       | 3000176 | 市石 芳博  |
|       | 3000177 | 今井 元   |
|       | 3000178 | 金丸 壽良  |
|       | 3000179 | 関東 英雄  |
|       | 3000180 | 後藤 誠之  |
|       | 3000181 | 佐藤 光   |
|       | 3000182 | 佐藤 幹武  |
|       | 3000183 | 鈴木 敏裕  |
|       | 3000184 | 鈴木 治仁  |
|       | 3000185 | 福本 敬一  |
|       | 3000186 | 本浄 学   |
|       | 3000187 | 真下 裕道  |
|       | 3000188 | 吉野 弘三  |
|       | 3000189 | 若松 英輝  |
|       | 3000190 | 秋山 佳英  |
|       | 3000192 | 岩崎 圭祐  |
|       | 3000193 | 吉田 武史  |
|       | 3000195 | 本浄 奈津  |
|       | 3000197 | 渡邊 珠代  |
|       | 3000198 | 山口 佳奈子 |
|       | 3000200 | 宮 直利   |
|       | 3000600 | 鈴木 総史  |
|       | 1179    | 黒川 弘康  |
| 小児歯科  | 2007    | 高森 一乗  |
|       | 2292    | 武井 浩樹  |
|       | 1537    | 白川 哲夫  |
|       | 2675    | 石山 未紗  |



